



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

**第40回例会**(5月19日)  
平成29年5月26日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 駒木 進  
幹 事 海野 尚  
会 報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョンF ジャーム

ゲスト卓話



『「ポランの広場」2016年度活動報告』

認定 NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」  
副理事長

嶋山 俊樹様

1. はじめに

盛岡ロータリークラブ様からのご支援は2017年度で10年目になります。貴ロータリークラブ様には、長年にわたるご支援に理事・スタッフ一同心より感謝申し上げます。常に私たちの活動を見守り支援して下さることが私たちは大変心強く、励まされております。

「ポランの広場」は、1987年に不登校に悩む親たちが「岩手県不登校を考える父母会」を結成したことに始まります。近年不登校の数は、岩手県では入学者数が減少しているにもかかわらずとくに小・中学校において増加傾向にあります。また、ひきこもりについては、高齢化がすすみ「親亡き後の子どもの生活」を心配する親からの相談が増えてきております。不登校・ひきこもりに悩む親子・若者たちを支える活動は、今年30年目を迎えております。

2. 不登校・ひきこもりの相談活動

不登校・ひきこもりの相談は、盛岡市松尾町の羅漢公園に隣接する法人事務所「ポランの広場」と2013年6月に開設した「ななっく相談室」(肴町にある「ななっく」4階)の2か所で行っています。相談される方は、盛岡市を中心に県内が主ですが、県外からの相談も少なくありません。

- ◆「ポランの広場」の開所日：  
(火、金、土)の10時～16時
- ◆「ななっく相談室」:

毎週火曜日 13時～16時

下表に2016年度の相談数を示します。

平成28年(2016)年度( )は新規				
	来 所	電 話	合 計	相談総数
不登校	24(14)	27(14)	51(28)	
ひきこもり	49( 4)	44( 9)	93(13)	
その他	9( 1)	70( 3)	79( 4)	223(45)

※この他「ななっく相談室」における相談数は16件でした。

◇前年度との比較

平成27年(2015)年度				
	来 所	電 話	合 計	相談総数
不登校	51(20)	36(15)	87(35)	
ひきこもり	47(16)	44( 4)	91(20)	
その他	17( 5)	93( 7)	110(12)	288(67)

※この他「ななっく相談室」における相談数は18件でした。

ひきこもりの相談は、年間を通じて途切れることはありません。不登校の相談は、進学・進級の時期である冬から春にかけて多くなる傾向があります。「その他」の多くは、ひきこもりではないが社会参加ができていない若者たちからの相談です。たとえば親の離婚や病気による入院などによる家庭環境の悪化、経済状態の困窮化及び精神状態の不安定に関する相談等です。不登校の相談で特徴的だったのは、親ではなく最初から本人が電話をかけてくるか、あるいは直接来所する事例が目立ちました。本人の問題というより、複雑な家族関係や家計の困窮

など経済問題に起因する不登校が増えていることがうかがわれます。

◆不登校・ひきこもりの現状について

不登校やひきこもりの現状はどうなっているのでしょうか。

岩手県教育委員会は毎年不登校児童生徒数(病気・経済的理由を除く、年間30日以上欠席した者)を発表しています。昨年10月27日の発表によると、2015年度の不登校数は小中高を合わせると、1,357人でした。高校は過去5年間で最低でしたが、逆に小中学校は過去5年間で最高でした。入学者数が減っていても不登校の子どもたちは増えているのです。原因の上位は、「その他」を除くと小中高で順番が異なりますが、「不安」と「無気力」と「学校における人間関係」になっています。子どもたちが人間関係や学校生活に疲れているようにみえます。

◇不登校・ひきこもりの現状 (2015年度)

不登校

【全国】

12万6千人(小中学校)

3万8千人(高校生)

【岩手県】

小学校 189人(0.30%)

中学校 829人(2.38%)

高等学校 339人(1.19%)

(合計1,357人)

ひきこもり

【全国】

ひきこもり 54万人(推計)(2015年)

(資料)

- ・不登校：岩手県教育委員会「平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について」

平成28年10月27日(岩手県HP)

- ・ひきこもり：

「岩手日報」2016年9月8日

ひきこもりについて内閣府は、昨年9月7日に54万人(2015年度の推計)と発表しました。10年前の約69万6千人に比べると減少したとしています。ただし、「ひきこもり」の定義を「仕事・学校に行かず、6か月以上にわたり、家族

以外と交流せずに自宅にいる16~39才の者」としており、高齢化傾向の現状からすると狭すぎると考えています。岩手県洋野町の地域包括センターが実施したひきこもり調査においても、ひきこもりのうち40歳以上が過半数を占めるという結果が報告されております。なお、内閣府の調査において、ひきこもり状態になったきっかけの上位5つは、「不登校(小中高)」「職場になじめなかった」「就職活動がうまくいかなかった」「人間関係がうまくいかなかった」「病気」です。

※(資料) 洋野町のひきこもり調査：池上正樹、「ひきこもり」の過半数は40才以上 年老いる親子共倒れ危機の衝撃。週刊ダイヤモンド2017/03/11

3. 居場所(フリースペース)

居場所は若者同士の交流やスタッフとの交流を通じて元気を取り戻す場であり、社会参加への「巣立ちの中間施設」の役割を担っていると考えています。

2016年度の開所日数は、144日。居場所にやってきた若者の数(利用数)はのべ、617名でした。開所日1日の平均が約4名で、前年度の5名とほぼ同様でした。居場所で若者は、ゲームをしたり、アクセサリを作ったり、おしゃべりしたりと自由に時間を過ごしています。1か月に一度“絵本でほっこり”の読み聞かせの時間があり、絵本の読み聞かせを聞いた後、若者が読んでいます。



4. 若者の会の活動

居場所を利用する若者が中心となり、2か月に1度、若者たちの自身による行事をしています。行事には、BBS(Big Brothers and Sisters)に所属する県立大学の学生たちが協力

してくれました。2016年度は、お花見、アクセサリー作り、ボウリング、紅葉狩り・ゴミ拾い、おやつ作りなど6回の行事を行いました。

### 5. ひまわりプロジェクト参加

～ひまわり栽培を通じた若者の被災者支援活動～

東日本大震災で盛岡に避難している被災者と若者と父母でひまわり栽培を行いました。ひまわりの花から種を採取し福島に送るこのプロジェクトは、東日本大震災の翌年（2012年）に福島支援活動として始まりました。ひまわり油の販売利益は福島の子どもたちが夏の間放射能の影響から離れて過ごすための保養プログラムの費用に使われています。

ボランの広場は当初から参加し今年で5年目になります。今年は、収穫したひまわりの種10kgをプロジェクトの主催者である福島市の障害者施設シャロームに送りました。



若者の会行事（12月18日 クリスマス会）



ひまわりプロジェクト  
（1月19日 餅つき しえあハート村）

### 6. 岩手のつどい in 北上の開催

不登校・ひきこもりに悩む親子の交流会である“岩手のつどい”を2016年度は北上市の黒沢尻北地区交流センターで開催しました（北上地区父母会と共催）。

午前は、岩手県ひきこもり支援センター相談員の阿部直樹さんに「家族の力で支えあおう～ひきこもりと家族の対応～」というテーマで講演をしていただきました。家族は問題の源ではなく問題解決の資源を無限に持っていると思え、家族こそが支える力なのだというお話に参加者たちが励まされました。

午後は、県内の不登校・ひきこもりに関わる9つの地区父母会の交流会（分散会形式）を開きました。この集いの特徴は、一人ひとりが思い・悩み・願いを十分に語り合うことができる点にあります。



午前：講演“家族の力で支えあおう”  
講師の阿部直樹さん



午後：県内父母の交流会

### 7. その他の活動

- (1) 講演会「子どもが生きようとして踏み出す『その一歩』をどう支えるか、伴走者の役割」講師 折出健二氏（愛知教育大）

- 学名誉教授) 2016年5月22日県民会館  
 (2) ポランの広場通信 毎月発行  
 (3) ポランの広場だより 18号  
 2016年7月1日発行

8. 最後に

不登校・ひきこもりが無くなったら解散しようと話合いながら出発した「ポランの広場」でしたが、相変わらず不登校の数は減る傾向に

なく、ひきこもりは長期化と高齢化が進んでいます。子どもたちや若者たちにとって生きづらい社会なのではないかと感じています。わたくしたちの活動は、まだしばらくは継続が必要だと考えております。

最後になりますが、私たち「ポランの広場」の活動をいつも支援してくださっている盛岡ロータリークラブの皆様のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

例 会 報 告

第40回例会  
 平成29年5月19日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 駒木 進会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・ゲスト 畠山俊樹様 (認定 NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」副理事長) タンバンベンストン・シラナットさん (2017-18年度 米山記念奨学生) (国籍：タイ) / 在籍：岩手大学人文科学学科国際文化学専攻 修士課程)
- 紹介者：米山奨学生カウンセラー 三田光男会員
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・誕生祝 小川 惇・金沢 滋君。



- ・結婚祝 大平騰一・平野佳則・星 克彦・丸山 大君。
- ・幹事報告 星 克彦副幹事

【ニコニコBOX】

- ◆平野佳則君…今日と明日の2日間、平金商店バステル館主催、文具フェアを開催しております。文具メーカー40社の協力いただき、開催することができました。バステル館という店舗名にしてからちょうど20年目節目の年、お客様への感謝の気持ちを込めて、「文具の魅力再発見!」をテーマに文具メーカー各社のスタッフが実演を交えてご紹介いたします。盛岡ロータリークラブの皆様にお知らせ致しますと共に、ご愛顧いただいているお客様に感謝し、ニコニコ致します。
- ◆工藤幸一君…先週は、あいさつ回

りの1日目ということで、例会に参加できませんでしたが、5月11日の株主総会において、社長に就任となりました。前社長も会長として、2人体制となりますが、あらためてよろしくお願ひいたします。

- ◆熊谷隆司君(次期国際奉仕委員長)…米山記念奨学生のタンバンベンストン・シラナットさんを心から歓迎いたします。盛岡での勉学、暮らしをカウンセラーの三田会員とともに支援してまいりたいと思ひます。よろしくお願ひします。
- ◆勝部民男君…小川惇会員の「県勢功労賞」を祝してニコニコします。我々建築士会の会長を永年お勤め頂き、建築行政に多大な功労をなされた事もご受賞の理由の1つと存じ、大変有難く思ひます。

出席報告

会員数 / 75 名

出席数 / 44 名

出席率 / 60.2%

前々回修正出席率 / 休会

プログラムの  
 お知らせ

- ・5月26日(金) ゲスト卓話 阿部東龍様(東楽寺(玉山区)住職) 『『老』について』
- ・6月 2日(金) 会員卓話 大平騰一会員
- 9日(金) 会員卓話 荒川鉄平会員
- 16日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 22日(木) ターミネートパーティー(23日例会変更) 於：グランドホテル
- 30日(金) 特別休会

- 本号編集担当 / 福田 荘介
- 次号編集担当 / 檜崎 憲二